

PK,PL 型錠 (標準錠) ・ EL,EM,EN 型錠 (電気錠) 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- 電気工事は電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合は必ず電気工事店へ依頼してください。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡ししてください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 改造・分解をしないでください。
- 投げたり、落したり、ハンマーによる衝撃などを加えないようにしてください。
- 2線式電気錠は、ドアホン子器・カメラ付ドアホン子器など同一線(多芯ケーブル)を使用しないでください。また、AC100V配線とは別配管で配線してください。
- 錠内部へは異物(木屑・金属屑など)が入らないように施工してください。
- スベリ止め付き手袋をご使用ください。金具で手を切る等のケガをする場合があります。
- ハンドル、シリンダー、サムターン等の突起物を足場にしないでください。滑ってケガをする場合があります。または製品性能が低下する場合があります。
- 各ビスは、この施工説明書に従って確実に締付けてください。締付不良の場合、故障の原因になります。
- 特にハンドルを取付けるビスは強く締付けてください。締付けが緩いと使用中に外れてケガをする場合があります。
- 全ての部品を取付後、正常に作動することを確認してください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

もくじ

内部回路・定格 (EL・EM・EN 型錠)	1
梱包明細	2
施工前の確認 (プッシュプル錠について)	3
1. PK 型錠 (標準錠) の取付け	4
2. PL 型錠 (標準錠) の取付け	5
3. EL・EM・EN 型錠 (電気錠) の取付け	6
3-1 結線ボックスの取付け	6
3-2 錠金具の取付け (EL・EM 錠)	9
3-3 錠金具の取付け (EN 錠)	10

4. サムターンの取付け (※オプション)	11
5. 施工後の確認	12
5-1 EL・EM・EN 型錠 (電気錠) の動作確認	12
5-2 施工後の異常に対する処置	12
施工工事店様、販売店様へのお願い	12

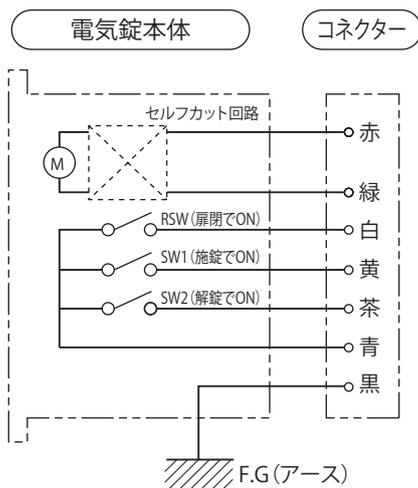


この施工説明書は「右勝手・内開き」の内観図のイラストで説明しています。

内部回路・定格 (EL・EM・EN 型錠)

- 下図は施錠・扉開の状態を示しています。

●内部回路



モーター制御方法

	施錠	解錠
赤	-	+
緑	+	-

●定格

定格電圧	DC24V
定格電流	0.2A
使用温度範囲	0 ~ 50℃

梱包明細

●施工前に、部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。

●施工説明書に記載している部品(ビス含)以外は使用しないでください。

●PK・PL型錠(標準錠)/EL・EM・EN型錠(電気錠)

梱包内容		PK錠 (標準錠) 片開き	PK錠 (標準錠) 両開き	PL錠 (標準錠) 片開き	PL錠 (標準錠) 両開き	EL・EM錠 (電気錠) 片開き	EL・EM錠 (電気錠) 両開き	EN錠 (電気錠) 片開き	EN錠 (電気錠) 両開き
プッシュアップ錠	プッシュアップ錠本体	1	1	1	1	1	1	1	1
	本体ライナー※1	1	1	—	—	1	1	—	—
	箱受け・受けライナー※1	1	1	1	1	1	1	1	1
	受けフロント	1	1	1	1	1	1	1	1
	M4×16皿小ネジ	4	4	—	—	4	4	—	—
	M4×20皿小ネジ	—	—	4	4	—	—	4	4
	内側ハンドル・外側ハンドル	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1	各1
	内側固定ハンドル・外側固定ハンドル	—	各1	—	各1	—	各1	—	各1
	M4×16丸皿小ネジ(頭色付き)	2	4	2	4	2	4	2	4
	片開き用受けプレート※2	—	—	1	—	—	—	1	—
φ4×10皿タッピン3種※2	—	—	4	—	—	—	4	—	
本締錠	本締錠	1	1	1	1	—	—	—	—
	本体ライナー※1	1	1	1	1	—	—	—	—
	箱受け・受けライナー(本締錠用)※1	1	1	1	1	—	—	—	—
	受けフロント(本締錠用)	1	1	1	1	—	—	—	—
	M4×16皿小ネジ	4	4	—	—	—	—	—	—
	M4×20皿小ネジ	—	—	4	4	—	—	—	—
電気錠	電気錠	—	—	—	—	1	1	1	1
	本体ライナー※1	—	—	—	—	1	1	—	—
	箱受け・受けライナー(電気錠用)※1	—	—	—	—	1	1	1	1
	受けフロント(電気錠用)	—	—	—	—	1	1	1	1
	M4×16皿小ネジ	—	—	—	—	4	4	—	—
	M4×20皿小ネジ	—	—	—	—	—	—	4	4
	結線ボックス・防水パッキン・2線変換アダプター 通電金具・通電金具扉側ライナー※1	—	—	—	—	各1	各1	各1※3	各1※3
	φ4×12トラスタッピン3種・M4用平座金 M4×12皿小ネジ	—	—	—	—	各2	各2	各2	各2
	M4×16皿小ネジ	—	—	—	—	2	2	2	2
	片開き用受けプレート※2	—	—	1	—	—	—	1	—
φ4×10皿タッピン3種※2	—	—	4	—	—	—	4	—	
施工説明書[ME-1920]	1	1	1	1	1	1	1	1	

※1: 出荷時、ライナー2個がテープ止めされています。

※2: 外開きの場合のみ使用します

※3: 通電金具・通電金具扉側ライナーは含まれません。

●シリンダーセット(両面シリンダー)

梱包内容	片開き・両開き 3・4枚開き用 (1セット入り)	通用門付両開き用 (2セット入り)
内側シリンダー・外側シリンダー	各1	各2
シル取付座	1	2
M4×16皿小ネジ	2	4
M4×25皿小ネジ(頭色付き)	2	4
キー	3	6

●交換用サムターン(PK・EL・EM錠用オプション)

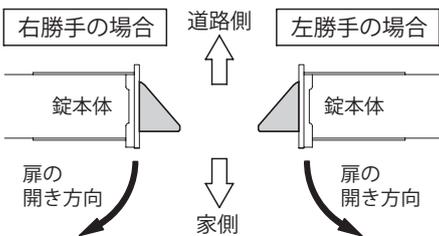
梱包内容	個数
サムターン	1
M4×25皿小ネジ	2

施工前の確認（プッシュプル錠について）

ラッチの向き

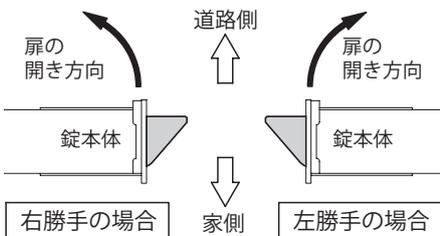
- 錠本体のラッチの向きを、下図の通りに合わせてください。
- ラッチの向きを変えるときは、錠本体を上下反転してください。

●内開き



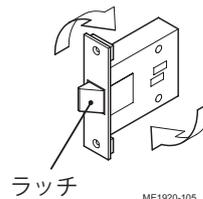
ME1920-104

●外開き



ME1920-110-2

上下反転して向きを変える

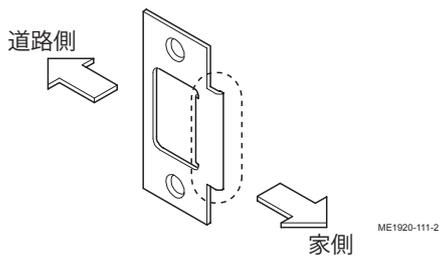


ME1920-105

受けフロントの向き

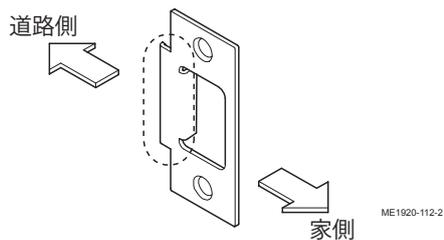
※受けフロントの凹凸の方向で区別してください。（下図○部）

●内開き



ME1920-111-2

●外開き



ME1920-112-2

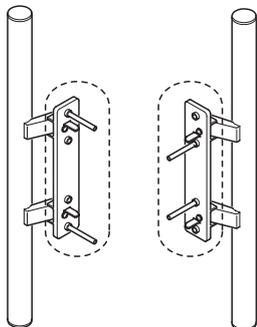
ハンドルの種類

※ハンドルの台座部の形状で区別してください。（下図○部）

●施錠扉側

外側ハンドル
(道路側)

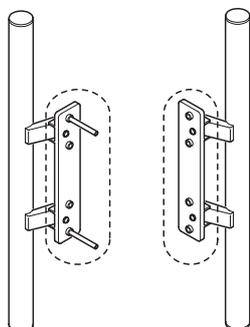
内側ハンドル
(家側)



●受扉側

外側固定ハンドル
(道路側)

内側固定ハンドル
(家側)



ME1920-002

1

PK型錠 (標準錠) の取付け

- 門扉の施錠扉側・受扉側を確認して取付けてください。
- 本図は「右勝手」の場合を示しています。「左勝手」の場合は左右対称になります。

①図を参照して、各錠金具を門扉に取付けてください。



キーを取外した状態で取付けてください。

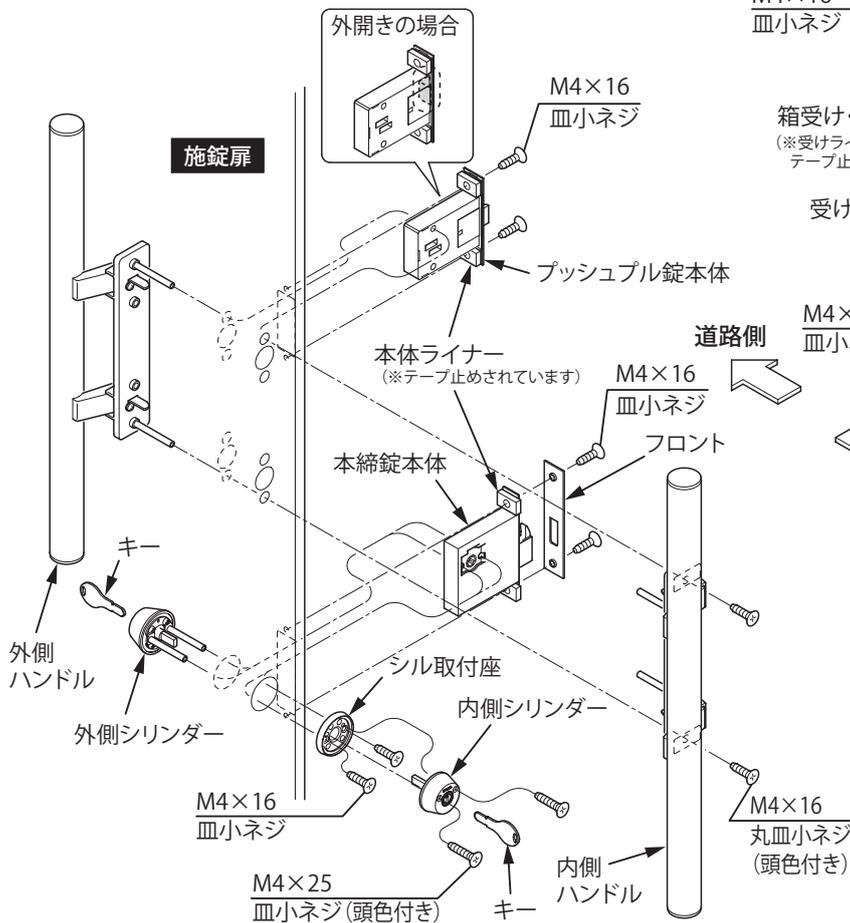


施錠扉側は、錠本体を門扉に取付けてから、ハンドルを取付けてください。

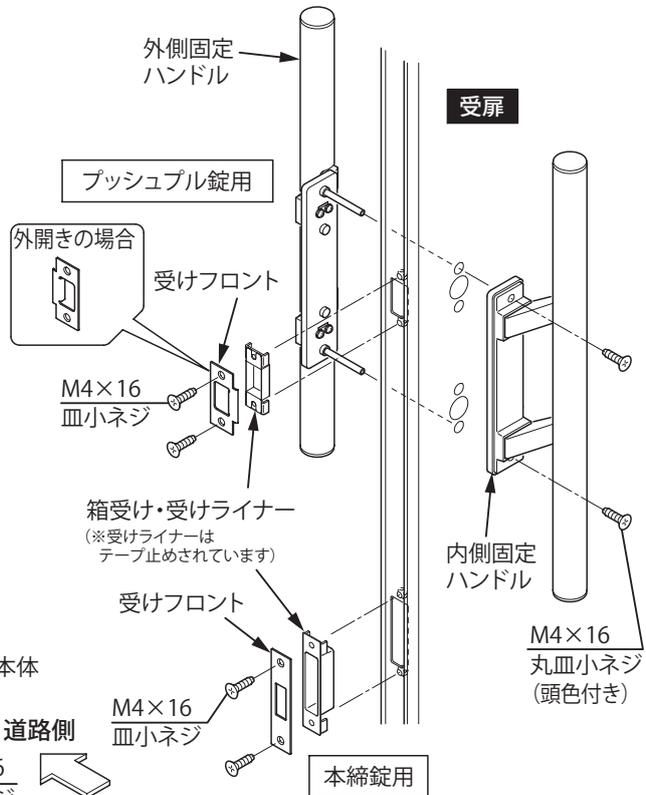


「施工前の確認」でラッチおよび受けフロントの向き、ハンドルの種類を確認してください。

●施錠扉への取付け (両開き・片開き 共通)

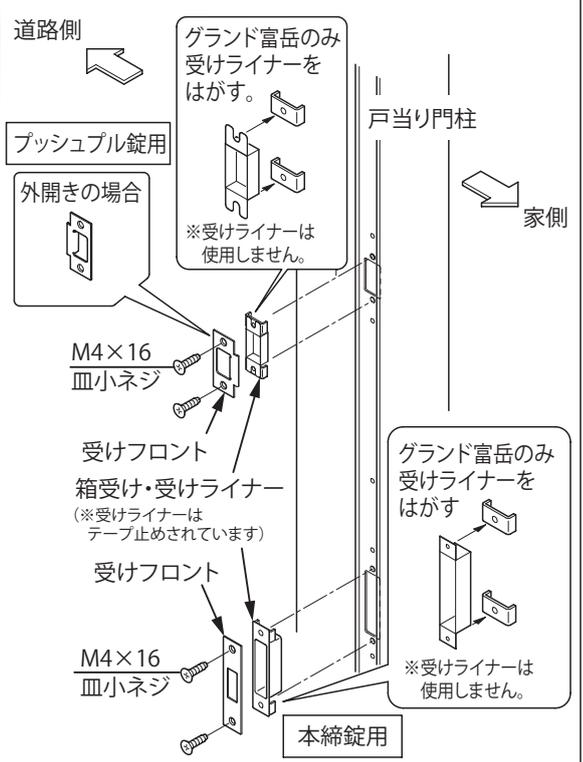


●受扉への取付け (両開きの場合)



ME1920-106-2

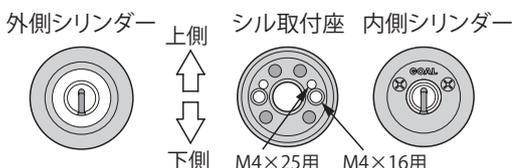
●戸当り門柱への取付け (片開きの場合)



オプションのサムターンを取付ける場合は、「4. サムターンの取付け」を参照してください。

●シリンダー・シル取付座の上下

※形状で区別してください。



●ラッチの機構

プッシュプル錠本体は「反転ラッチ」機構になっています。

- 内側・外側ハンドルの操作 (押し、引く) により、ラッチのロックが解除されます。
- 扉の動きに合わせてラッチが反転します。(ハンドル操作によりラッチが動くものではありません)
- 開扉後、ラッチが反転したままになることがあります。閉扉時に受けにより矯正され、元の位置に戻ります。

2

PL型錠 (標準錠) の取付け

- 門扉の施錠扉側・受扉側を確認して取付けてください。
- 本図は「右勝手」の場合を示しています。「左勝手」の場合は左右対称になります。

①図を参照して、各錠金具を門扉に取付けてください。



キーを取外した状態で取付けてください。

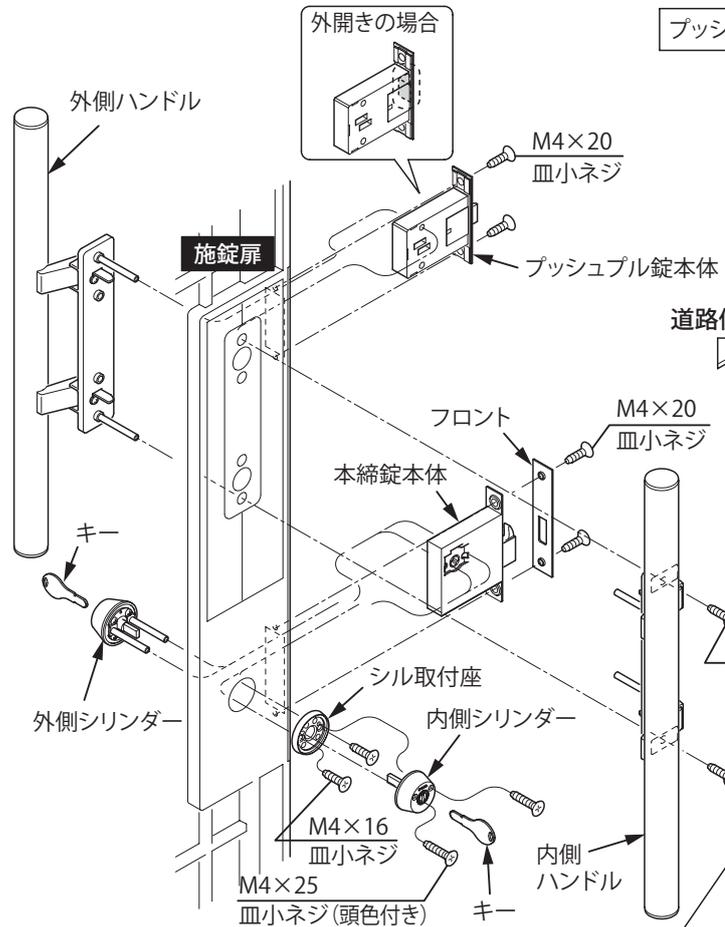


施錠扉側は、錠本体を門扉に取付けてから、ハンドルを取付けてください。

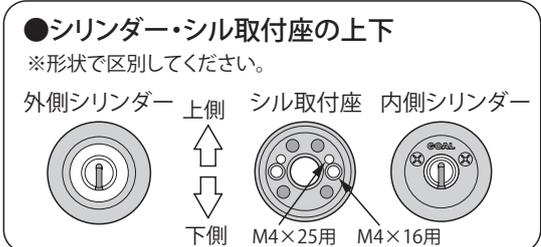


「施工前の確認」でラッチおよび受けフロントの向き、ハンドルの種類を確認してください。

●施錠扉への取付け (両開き・片開き 共通)



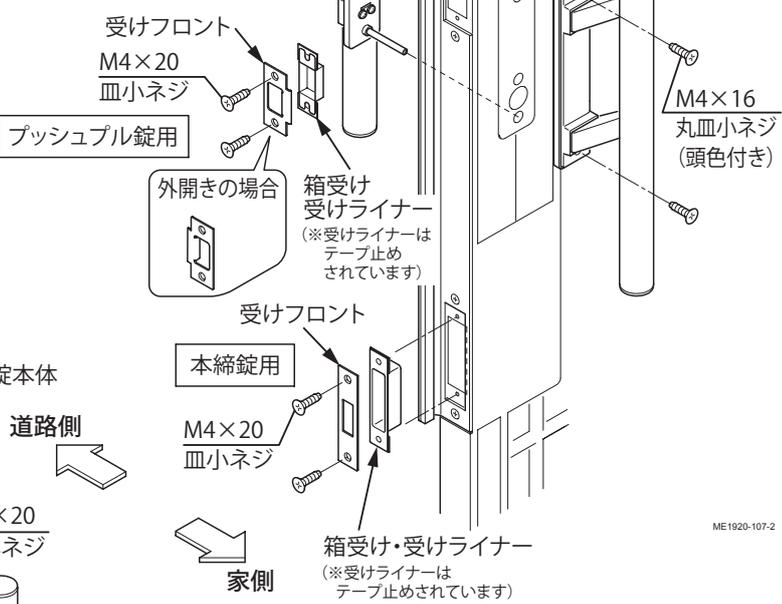
片開き・外開きの場合は、図を参照して片開き用受けプレート (プッシュプル錠用) を取付けてください。
※取付けないと錠のラッチで柱が傷つきます。



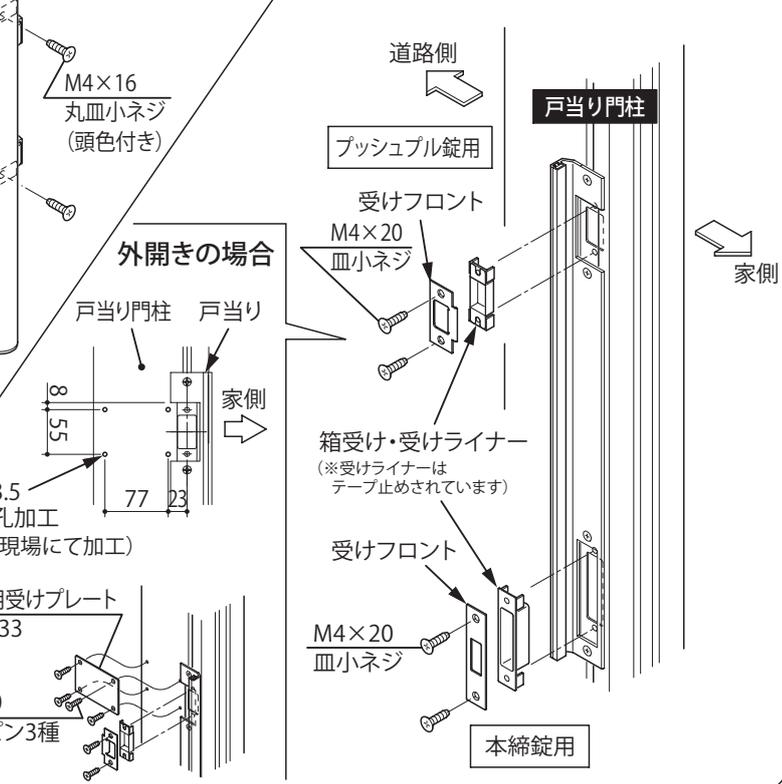
●ラッチの機構

プッシュプル錠本体は「反転ラッチ」機構になっています。

- 内側・外側ハンドルの操作 (押す、引く) により、ラッチのロックが解除されます。
- 扉の動きに合わせてラッチが反転します。(ハンドル操作によりラッチが動くものではありません)
- 開扉後、ラッチが反転したままになることがあります。閉扉時に受けにより矯正され、元の位置に戻ります。



●戸当り門柱への取付け (片開きの場合)



3

EL・EM・EN 型錠（電気錠） の取付け

3-1 結線ボックスの取付け



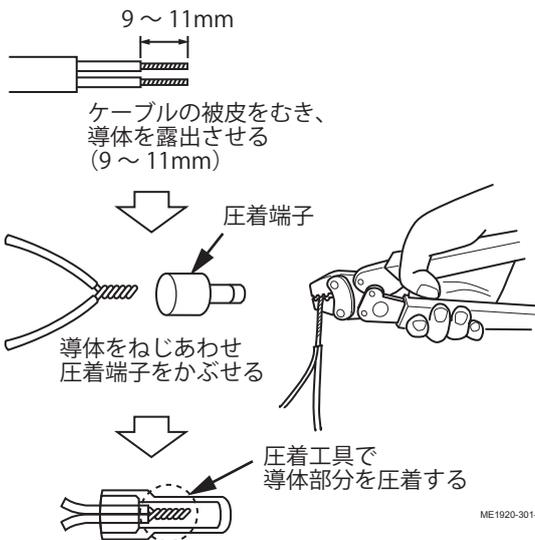
門扉本体の施工説明書を参照して、あらかじめ地中配線を立ち上げておいてください。

- ① 門扉本体の施工説明書を参照して、結線ボックスを門柱に取付けてください。
- ② シークレットスイッチからの2本の配線と2線変換アダプターの2本の配線を圧着してください。



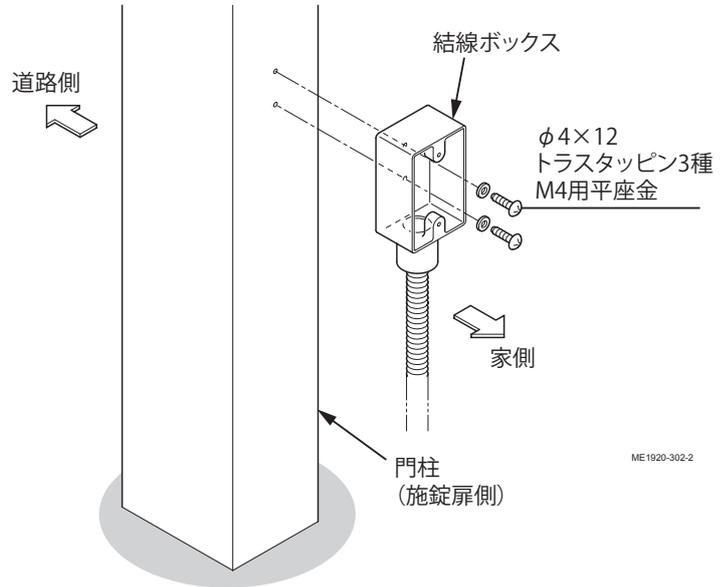
EM・EN 型錠の場合は、シークレットスイッチからの配線を防水パッキンに通して、電気錠操作器からの2本の配線も共に圧着してください。

● 圧着接続のしかた

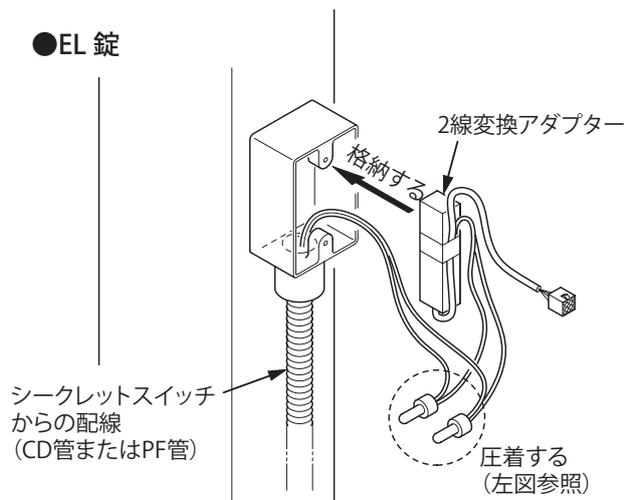


結線は電気工事店様（有資格者）が行ってください。

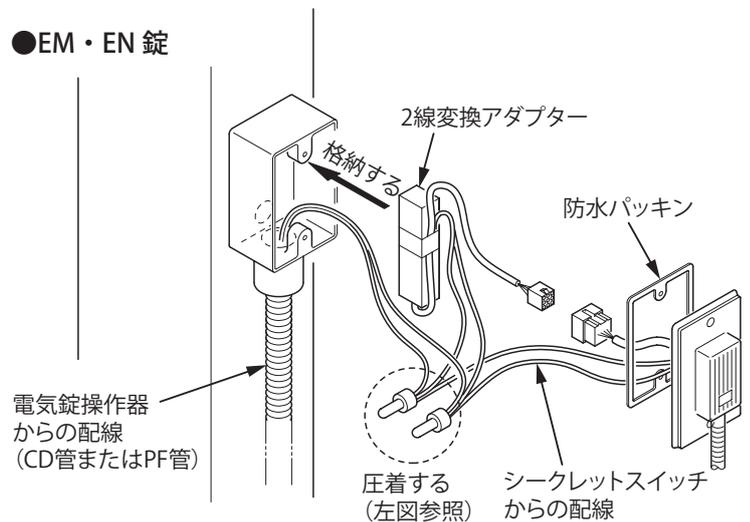
- ③ 2線変換アダプターを結線ボックスに格納してください。



● EL 錠

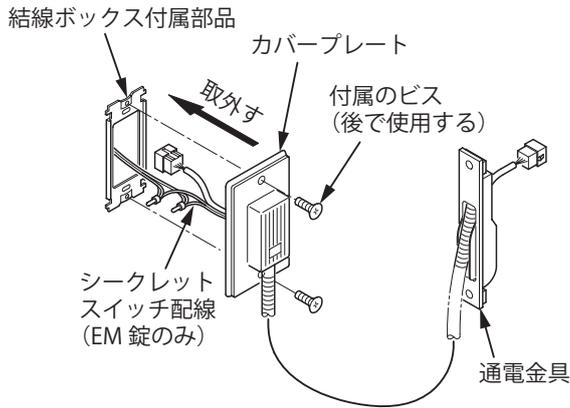


● EM・EN 錠



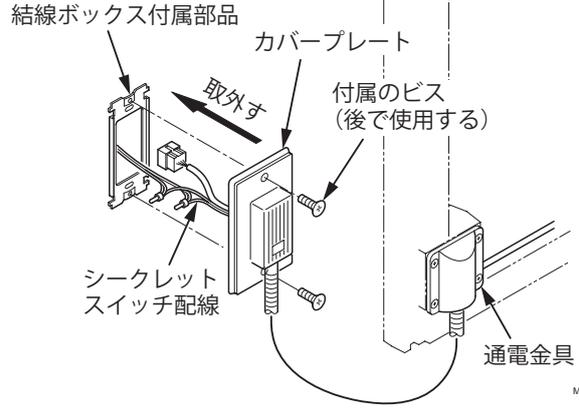
④カバープレートから結線ボックス付属部品を取外してください。

●EL・EM錠



ME1920-308-2

●EN錠

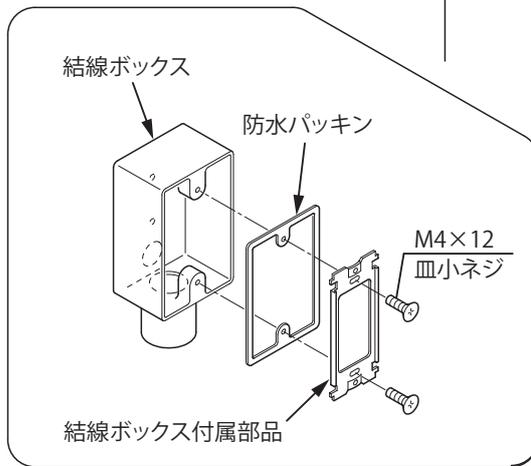


ME1920-303-2

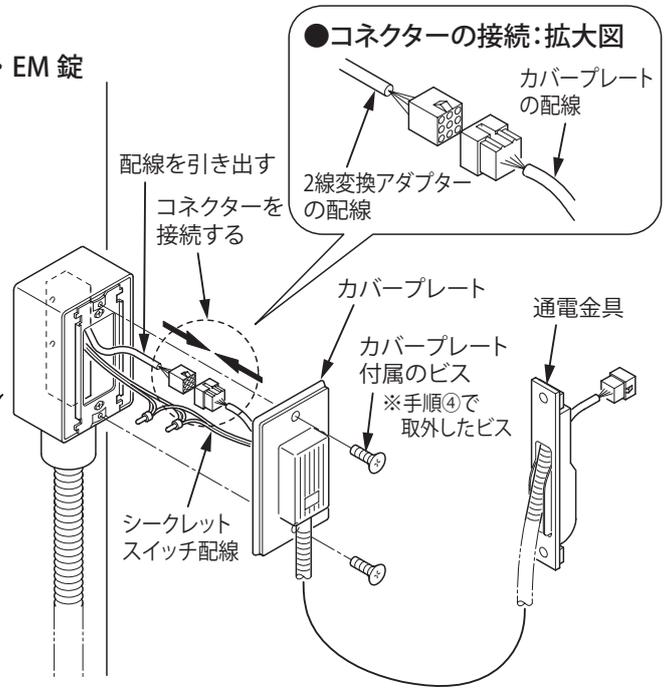
⑤防水パッキン、結線ボックス付属部品を結線ボックスに取付けてください。

⑥結線ボックス内のコネクタを引き出し、カバープレートのコネクタと接続してください。

⑦結線ボックスに配線を格納し、カバープレートを結線ボックスに取付けてください。

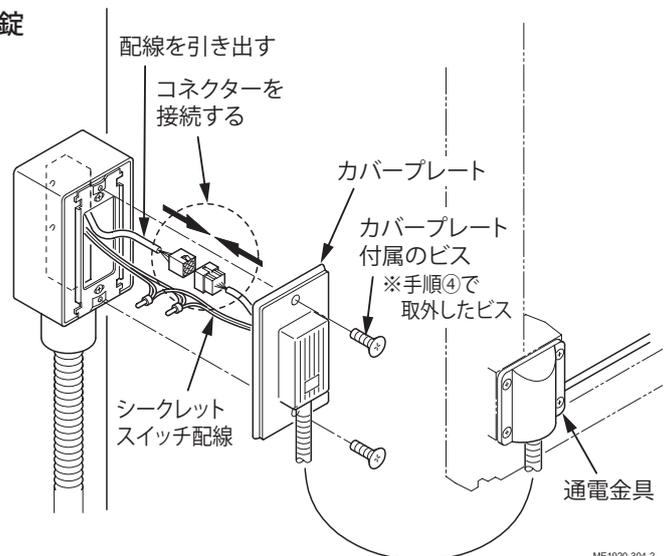


●EL・EM錠



※本図は、EM錠の場合を示しています。
EL錠の場合はシークレットスイッチ配線がありません。

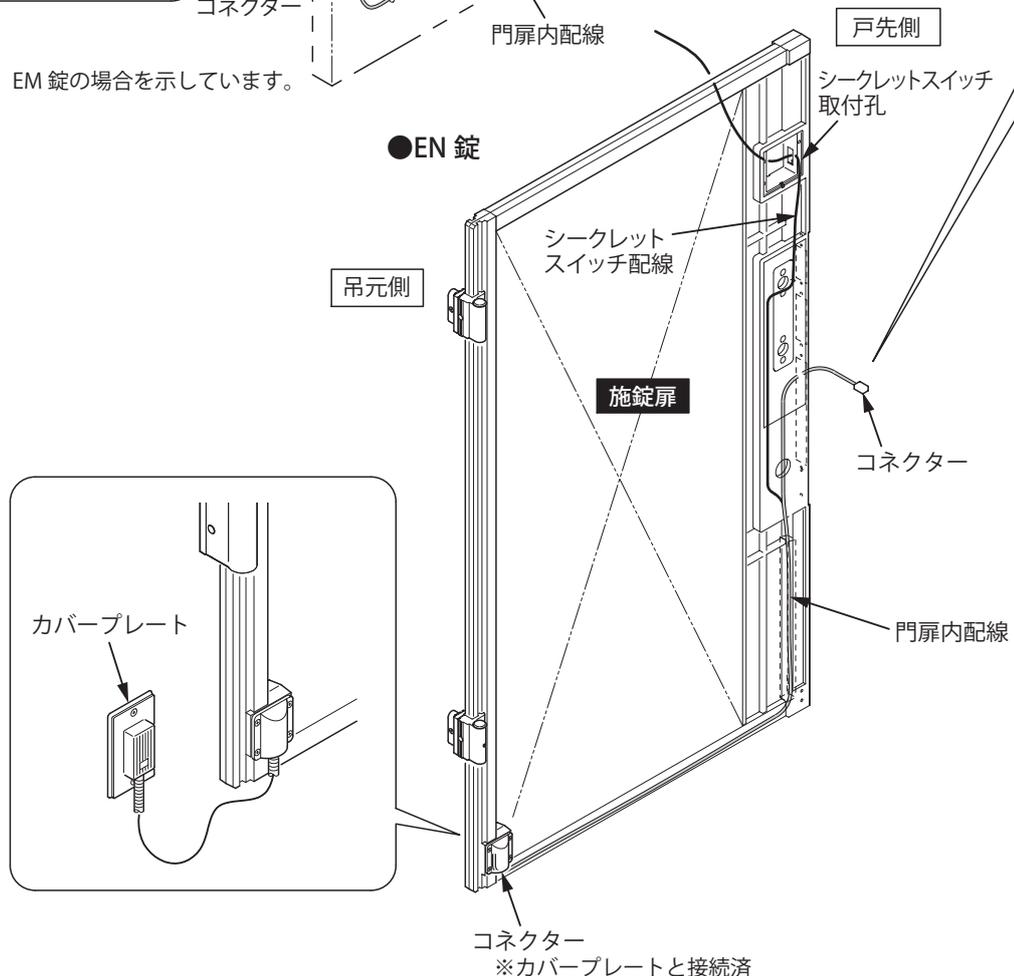
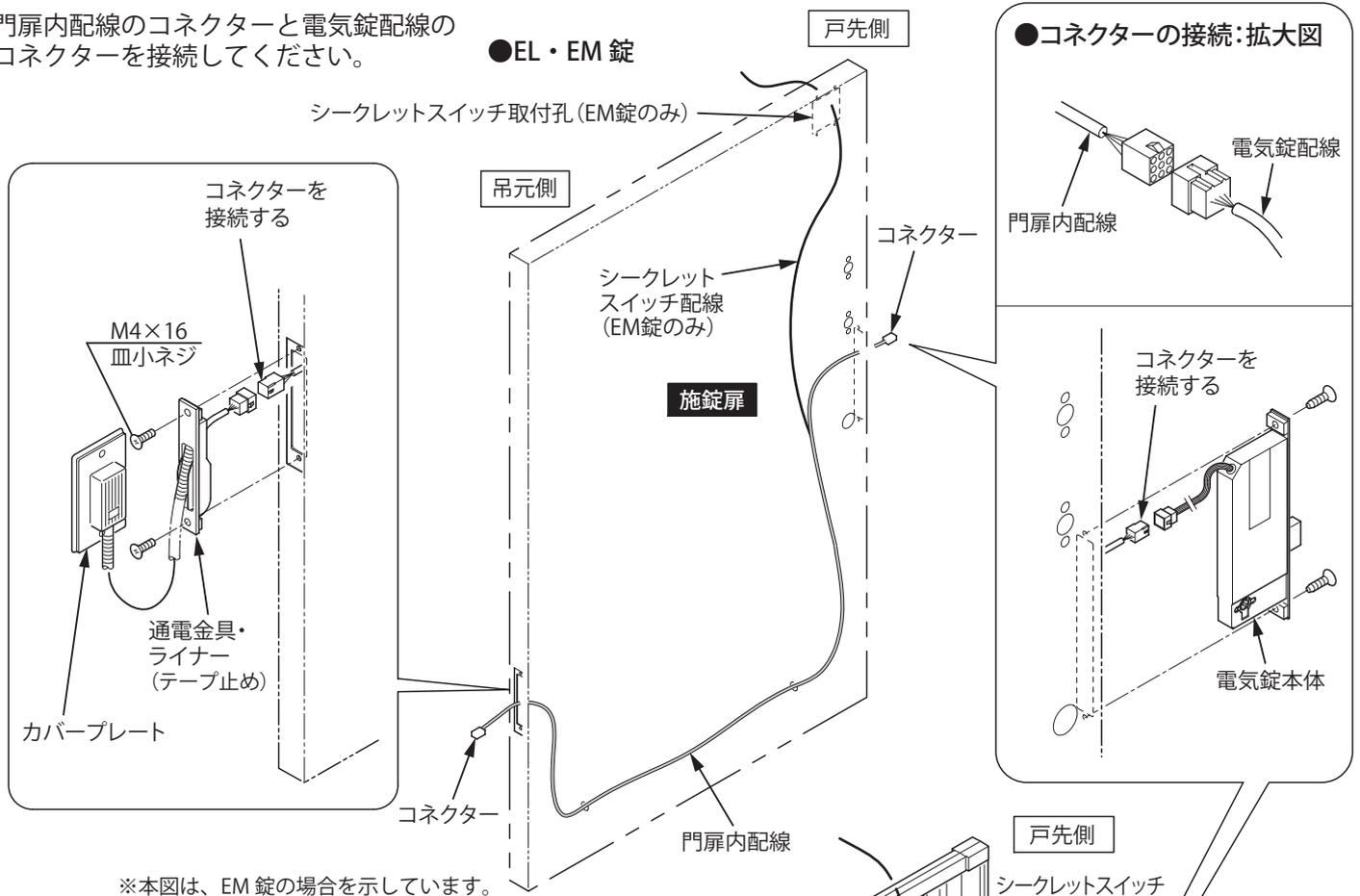
●EN錠



ME1920-304-2

電気錠の取付け

- ⑧ 通電金具のコネクターと門扉内配線のコネクターを接続してください。
- ⑨ 門扉に配線を格納し、通電金具を取付けてください。
- ⑩ 門扉内配線のコネクターと電気錠配線のコネクターを接続してください。



3-2 錠金具の取付け (EL・EM 錠)



オプションのサムターンを取付ける場合は、「4. サムターンの取付け」を参照してください。

- 門扉の施錠扉側・受扉側を確認して取付けてください。
- 本図は「右勝手」の場合を示しています。「左勝手」の場合は左右対称になります。



「施工前の確認」でラッチおよび受けフロントの向き、ハンドルの種類を確認してください。

- ① 門扉内配線のコネクタと電気錠配線のコネクタが接続されていることを確認してください。
- ② 図を参照して、各錠金具を門扉に取付けてください。



キーを取外した状態で取付けてください。

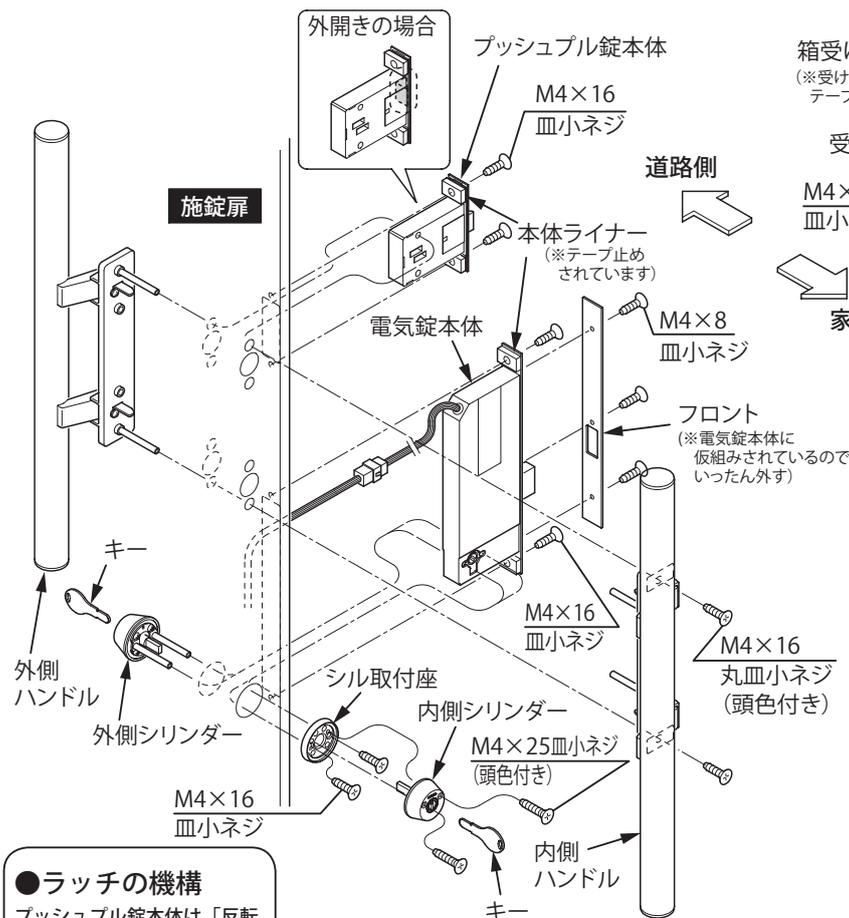


結線は電気工事店様（有資格者）が行ってください。



施錠扉側は、錠本体を門扉に取付けてから、ハンドルを取付けてください。

● 施錠扉への取付け (両開き・片開き 共通)



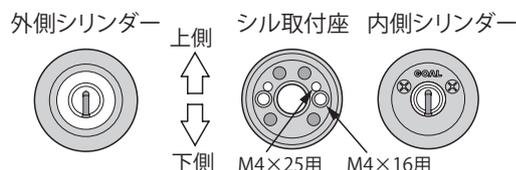
● ラッチの機構

プッシュプル錠本体は「反転ラッチ」機構になっています。

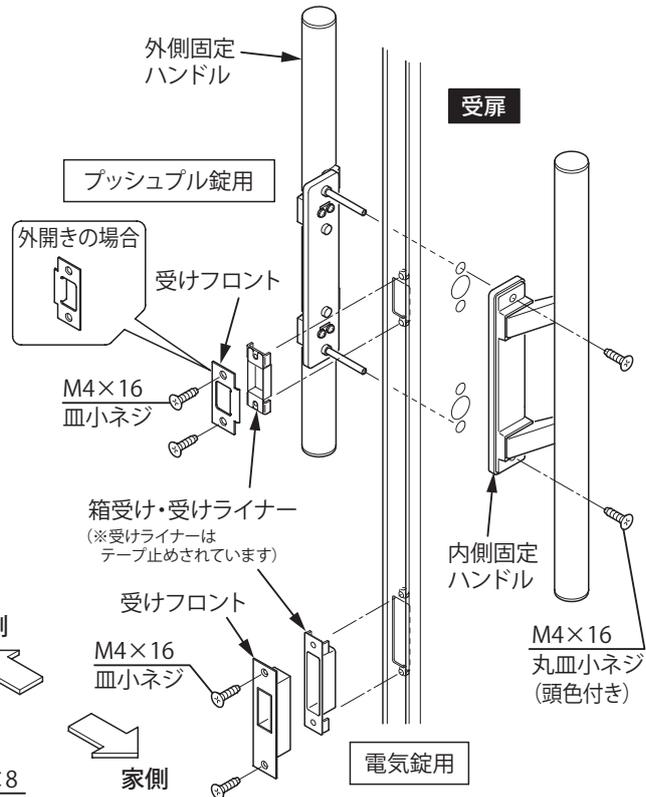
- 内側・外側ハンドルの操作（押す、引く）により、ラッチのロックが解除されます。
- 扉の動きに合わせてラッチが反転します。（ハンドル操作によりラッチが動くものではありません）
- 開扉後、ラッチが反転したままになることがありますが、閉扉時に受けにより矯正され、元の位置に戻ります。

● シリンダー・シル取付座の上下

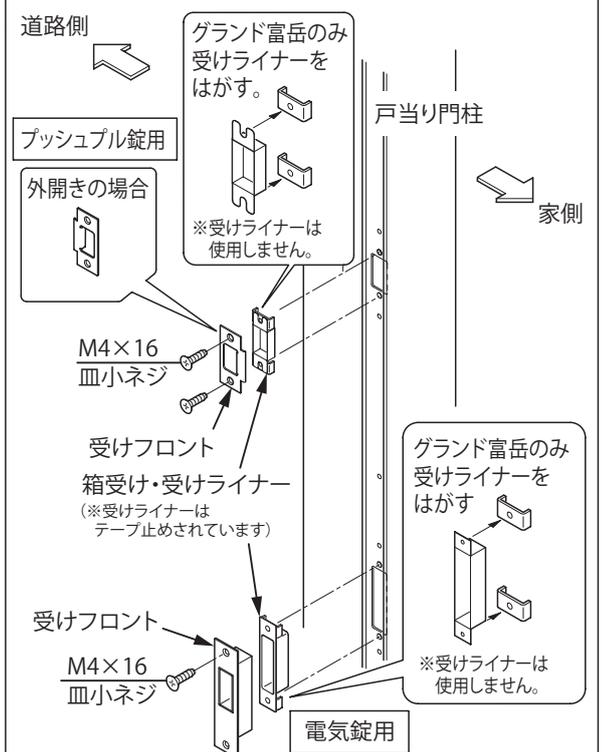
※形状で区別してください。



● 受扉への取付け (両開きの場合)



● 戸当り門柱への取付け (片開きの場合)



3-3 錠金具の取付け (EN 錠)

- 門扉の施錠扉側・受扉側を確認して取付けてください。
- 本図は「右勝手」の場合を示しています。「左勝手」の場合は左右対称になります。

- ①門扉内配線のコネクターと電気錠配線のコネクターが接続されていることを確認してください。
- ②図を参照して、各錠金具を門扉に取付けてください。



「施工前の確認」でラッチおよび受けフロントの向き、ハンドルの種類を確認してください。

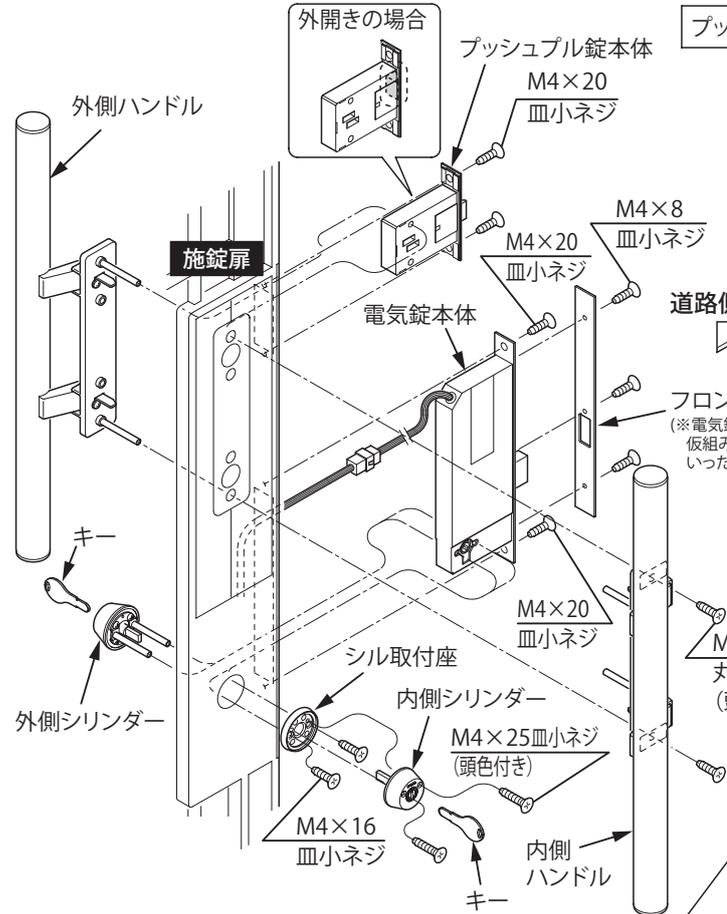
●受扉への取付け(両開きの場合)

❗ キーを取外した状態で取付けてください。

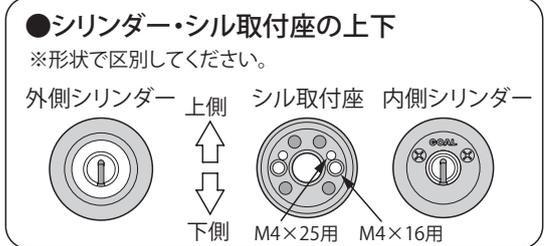
❗ 結線は電気工事店様(有資格者)が行ってください。

❗ 施錠扉側は、錠本体を門扉に取付けてから、ハンドルを取付けてください。

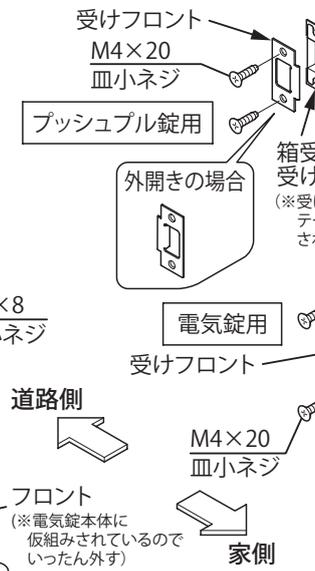
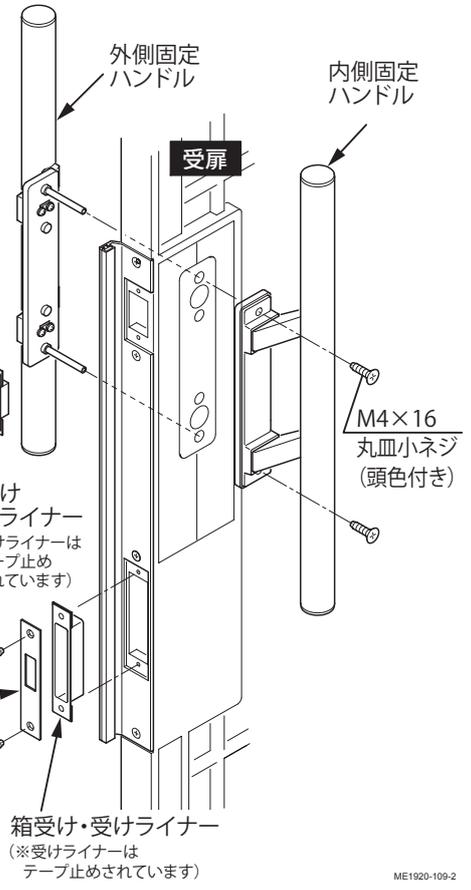
●施錠扉への取付け(両開き・片開き 共通)



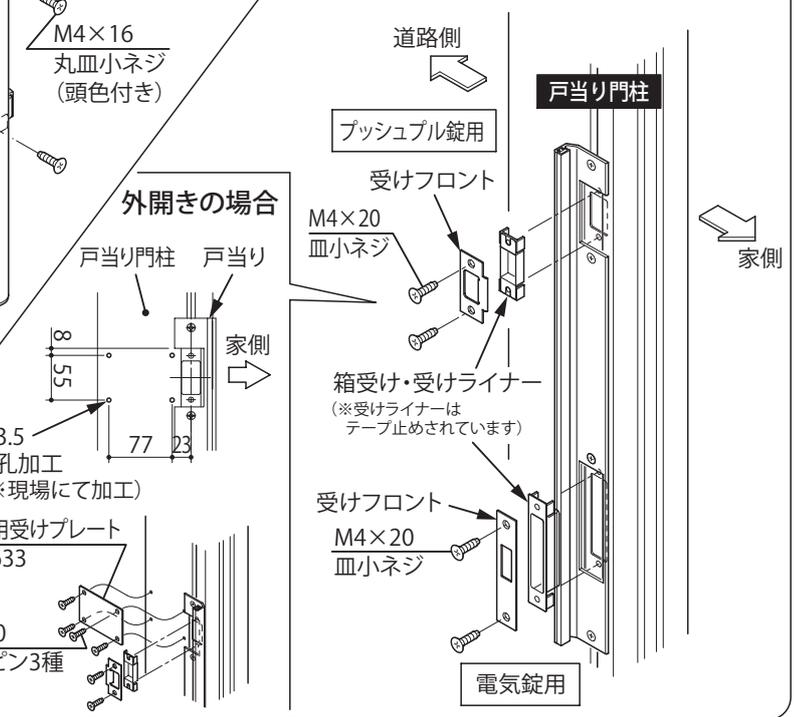
片開き・外開きの場合は、図を参照して片開き用受けプレート(プッシュプル錠用)を取付けてください。
※取付けないと錠のラッチで柱が傷つきます。



●ラッチの機構
プッシュプル錠本体は「反転ラッチ」機構になっています。
○内側・外側ハンドルの操作(押す、引く)により、ラッチのロックが解除されます。
○扉の動きに合わせてラッチが反転します。(ハンドル操作によりラッチが動くものではありません)
○開扉後、ラッチが反転したままになることがあります。閉扉時に受けにより矯正され、元の位置に戻ります。



●戸当り門柱への取付け(片開きの場合)



4

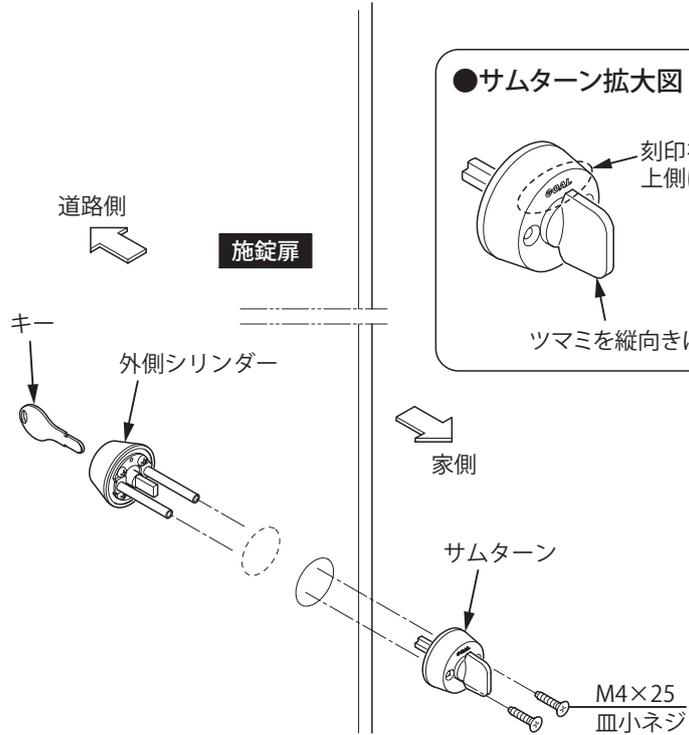
サムターンの取付け (※オプション)

- オプションのサムターンを取付ける場合に参照してください。
- PK・EL・EM型錠に取付け可能です。

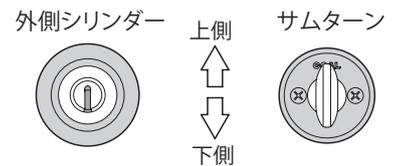
①オプションの「サムターン」を取付ける場合は、施錠扉・家側の「内側シリンダー、シル取付座」の代わりに「サムターン」を取付けてください。



サムターンのつまみは、解錠（デットボルトが引込まれている状態）のときに縦向きになるように錠本体へ差し込んでください。



●シリンダー・サムターンの上下
※形状で区別してください。



ME1920-113-2

5

施工後の確認

5-1 EL・EM・EN型錠（電気錠）の動作確認

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 可動部品につきましては作動チェックを行い不具合がないか確認してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
- 「3.EL・EM・EN型錠（電気錠）の取付け」を参照して、下表の動作確認を行ってください。

施錠	電気的動作	シンプルプランセット（電気錠操作器、シーケレットスイッチ、門内解錠スイッチ、電気錠操作押釦）の操作にて施錠してください。	デットボルトが出て、施錠となります。 ハンドルは動きますが扉を開けることができなくなります。
	機械的動作	キーまたはサムターンを戸先側に回してください。	
解錠	電気的動作	シンプルプランセット（電気錠操作器、シーケレットスイッチ、門内解錠スイッチ、電気錠操作押釦）の操作にて解錠してください。	デットボルトが引込んで、解錠となります。 ハンドル操作で扉を開けることができます。
	機械的動作	キーまたはサムターンを吊元側に回してください。	

5-2 施工後の異常に対する処置

- 錠前の動作や操作が正常でない場合は、下表の確認を行ってください。（各取付ビスはしっかりと締め付けてください）

チェック項目		結果	備考
EL・EM・EN型錠（標準錠） （電気錠）	扉の状態は正常か。	(1) 扉のねじれ、ゆがみはないか。	
		(2) 扉のはね返りはないか。	
		(3) 錠前側のチリ（受座と錠本体のすき間）は6mm以内か。	
	錠本体・フロントが門扉に正しく納まっているか。		
	ハンドルの取付け状態は良好か。	(1) 異常なガタツキはないか。	
		(2) 動きはスムーズか。	
受座の取付け状態は良好か。	(1) 取付け方向は正しいか。		
	(2) ラッチと受座の穴の位置（上下・前後）は正しいか。		
EL・EM・EN型錠（電気錠）	通電金具の取付け状態は良好か。		
	扉を閉じた状態での、電気錠の作動は良好か。	(1) 扉が軽く閉まりスムーズにラッチングするか。	
		(2) キーまたはサムターンを吊元側に約90°回せるか。	
		(3) 自動施錠で使用するとき、扉を閉めるとデットボルトが出て施錠されるか。	
	結線は正しくなされているか。	(1) 電気錠操作器、シーケレットスイッチ、通電金具、電気錠の間は正しく結線されているか。	
		(2) 断線はないか。	
(3) 配線は、シンプルプランセット（電気錠操作器、シーケレットスイッチ、門内解錠スイッチ、電気錠操作押釦）と電気錠の間の距離に見合う太さの線を使用しているか。			

■施工工事店様、販売店様へお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店	TEL ()		-
販売店	TEL ()		-

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は下記の窓口にお問い合わせください。

お客様相談室

 0120-126-001

LIXIL インターネットホームページ
http://www.lixil.co.jp